



# ブナセンターだより 9月号

発行：ブナセンター No.339 2021, 9, 1

## 今月のごあんない わくわく土曜日ランド

### 「歌才川・デイキャンプ」

ブナセンター近くの歌才川で魚やエビを採って、料理します。川の生き物を知り、焚火をしながら一日、野外で過ごしましょう。雨天の場合は、木工房でさかなクラフトに挑戦。



【日程】9月4日(土)  
【時間】10:00~15:00  
【集合】ブナセンター(9:55)  
または町民センター(9:55)

【定員】15名(町民センター)  
【参加費】300円  
【持ち物】野外で楽しむための運動靴、着替え、食料、水、リュック  
【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

◎詳しくは学校配布のチラシにて

### 新型コロナウイルス感染症対策

- ◎参加の際は、検温への協力とマスクの着用をお願いします
- ◎感染状況によっては中止や内容等を変更する場合があります

### 森へ行こう

### 「ブナの樹皮のモザイク模様

～地衣類観察会～

ブナの樹皮のモザイク模様の正体…「地衣類」。その謎にみちた生態や、観察のコツなどを、専門家によるリモート講座で学び、実際に森の中で地衣類の観察をします。



【日程】9月18日(土)  
【時間】9:30~12:00  
【集合】ブナセンター  
【定員】15名  
【講師】大村嘉人氏

先生はZoomで参加

(国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ長)

【持ち物】飲み物、雨具、あれば愛用のルーペ  
【参加費】300円 ※「ブナさぼ」のメンバーは無料  
【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

◎荒天の場合は座学のみ

**中止**  
緊急事態宣言期間(8/27~9/12)の事業は中止といたします  
2021年8月26日現在

## 工房からのお知らせ

### 陶芸教室

毎週木曜日 昼の部 13:30~15:30  
夜の部 18:30~20:30

※ブナセンタースタッフが指導しています  
※初めて参加される方は前日までにご連絡ください

◆詳しくはブナセンターまでお問い合わせください

### 木工教室

毎週木曜日 18:30~20:30

木工教室の時間帯を無料開放しています。  
リーナウッドワーク(生木からスプーンやへらを作る)の「削り馬」と削る道具も貸し出しています。  
利用の際は前日までにご連絡ください。

**中止**  
緊急事態宣言期間(8/27~9/12)の教室はすべて中止といたします

## 黒松内版・森林療法体験会「森林ウォーキング」④

【日時】9月25日(土) 9:00~12:00  
【場所】温泉横の森林公園コース  
【内容】森林浴を楽しみながらのウォーキング+「五感」を刺激する癒しと健康のプログラム(今月のテーマは「色」\*初秋の森の色見本を作ってみましょう)  
【参加費】300円  
【主催】森林療法実践プロジェクト(事務局ブナセンター)

対象：黒松内町民の方



◎詳しくはチラシなどでご案内します

3年目を迎え、毎回参加して下さる方が増えました！森林ウォーキングの効果は2週間程続くので、今年から月1回の「森林ウォーキング」の合間に、歩くだけの「おさんぽの会」も開催しています。継続して森の中のウォーキングを楽しみましょう。

### おさんぽの会

9月5日(日)  
10:00~12:00

**中止**

### 2021\*夏休み 思い出アルバム

コロナ禍でさまざまな制限のある中、ブナセンターならではのステキな夏休みの光景がいくつもありました。



「光る！夜の森観察会」  
ホテルと流れ星に感動



「ブナセンタークラブ」  
手羽先で骨格標本づくり



「木と遊ぶ・ブナパーク」  
大人も童心に帰って！



「貝化石の標本づくり」  
デジタル検索表が大活躍

白くすらりとした幹が特徴的なシラカバをはじめとするカンバの仲間3種類（シラカンバ、ダケカンバ、ウダイカンバ）。北海道ではいたるところで目にすることができ、樹皮は今でも焚き火の焚き付けとして使われています。最近では、樹液も飲料や化粧品などに商品化されており、私たちにとても身近な樹木です。

# 黒松内の樹木⑨

## シラカバ 白樺

シラカバ（標準和名：シラカンバ）

(*Betula platyphylla* var. *japonica*)

カバノキ科カバノキ属

北海道・本州・千島・サハリン・東シベリア  
・朝鮮半島・中国に分布する落葉広葉樹

### 甘い樹液

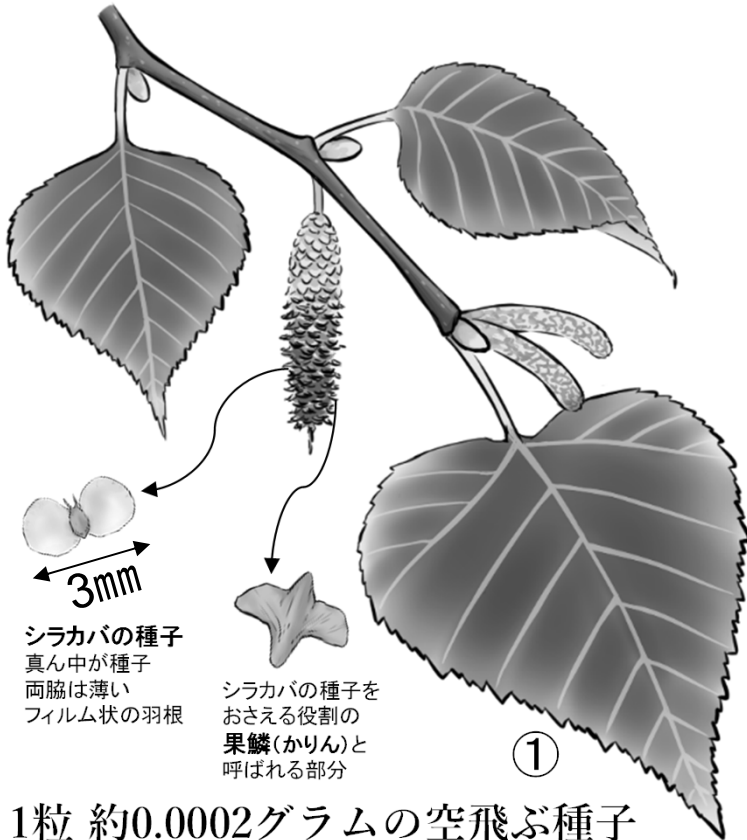
3月下旬から5月上旬にかけて、シラカバの幹に小さな穴を開けると、糖度が約1%の樹液が出てきます。3月頃に樹液が採れるイタヤカエデ（糖度2~3%）はあまり出が良くないのに対して、シラカバは条件がそろうと水道の蛇口を開いたように樹液が出てくることがあります。アイヌの人々も飲用したり、お酒を造ったりして利用していました。この樹液は人工甘味料のキシリトールの原料にもなっています。

### お茶になる木：葉と樺の穴茸

シラカバの葉は、ブナと同じ5月上旬に芽吹き始めますが、葉が完全に開くまでの時間が、ブナは約3日なのに対し、2週間くらいかかります。

このシラカバの葉、じつはお茶になります。

また、カンバ類の木の穴から生えるキノコ「カバノアナタケ」（写真右）もお茶にします。



シラカバの種子

真ん中が種子  
両脇は薄い  
フィルム状の羽根

シラカバの種子をおさえる役割の果鱗(かりん)と呼ばれる部分

①

### 1粒 約0.0002グラムの空飛ぶ種子

上のイラストのように、蝶のような形の薄い羽根を持つ、とても軽い種子は、風で遠くに飛ばされます。

そのため、黒松内の樹木③で紹介したケヤマハンノキと同じように、伐採あとや耕作放棄地などに最初に侵入する「パイオニア種（先駆種）」の代表です。

黒松内町内にもシラカバが一斉に生えてきたであろうシラカバ林がたくさんあります。



### シラカバのキャラクター レタタ

アイヌ語でシラカバは“レタッタニ”で「白い樺皮が採れる木」という意味。カンバの仲間3種の樹皮はガンビと呼ばれ、焚き付けや松明（たいまつ）として使われました。黒松内から蘭越に向かう途中にある雁皮袋（がんびたい）は、カンバの仲間の木が多くある場所という意味の地名です。

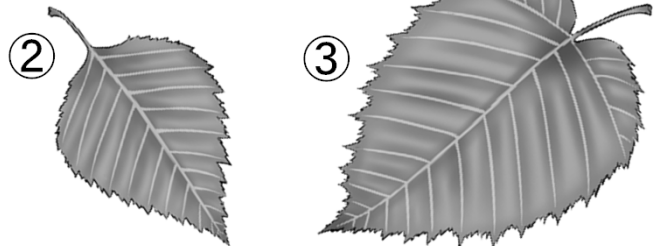
### くろまつないの樹木キャラクター

オリジナルの樹木キャラクターを毎号紹介しています。ブナセンターにて全13種類のキャラカードを配布中です！

### カンバの仲間3種

樹皮はどれも白っぽく、横向きの筋模様があります。

- ①シラカンバ：葉は長さ5~8cmの三角形、葉脈6-8対
- ②ダケカンバ：葉は長さ5~10cmの三角形、葉脈7-12対  
シラカンバより標高の高いところに生える
- ③ウダイカンバ：葉は8~16cmと大きく、縦長のハート型  
別名マカバと呼ばれる高級材



### 【9月の休館日】

6・7日 / 13・14日 / 21日 / 27・28日  
ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です  
祝日は開館します

- 「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。
- 「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の84円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440

メール [bunacent@host.or.jp](mailto:bunacent@host.or.jp) HP <http://bunacent.host.jp/> fb <https://facebook.com/bunacent.kuromatsunai/>